

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

公益財団法人セゾン文化財団では、2020年度の「セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェロー」の一環として、カナダを拠点に活動する作家、演出家、女優のマリー・ブラッサールのクリエイションを支援いたします。

マリー・ブラッサールはモントリオールにて長年、ロバート・ルパージュの創作に関わり、彼の舞台作品や映画に数多く出演した経歴を持つ演出家です。2001年、デビュー作『ジミー』をアメリカ演劇祭で発表後、自身のプロダクション “Infrarouge” を創設して本格的な活動を開始しました。多様なジャンルのアーティストと共同で創作を行い、熟練した演技力とともに、革新的な映像や照明、サウンドを特徴とする幻想的な舞台作品を創り出しています。日本では、2017年、『この熱き私の激情』の日本版を創作し、同作品は東京で3週間の上演後、広島、北九州、京都、豊橋へ巡回されました。

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、ドイツのテアターデアヴェルト 2020 やカナダのフェスティヴァル・トランスアメリカ(FTA)で上演予定の新作、『Violence』のクリエイションをオンラインで行います。2019年にモントリオールの Usine C で上演された『Introduction to Violence』をベースにした同作品では、振付家として奥野美和、俳優として竹中香子、ドラマトルクとして長谷川億名が参加しています。

- オンラインレジデンス 2020年9月22日(火)-9月25日(金)
2020年11月9日(月)-11月14日(土)
※2020年11月、アーティスト・トークをオンラインで開催予定
- 日本側活動拠点 森下スタジオ (東京都江東区森下 3-5-6)



マリー・ブラッサール

© Minelly Kamemura

プロフィール

マリー・ブラッサール (Marie Brassard)

作家、演出家、女優。2001年、デビュー作を『ジミー』を現在のフェスティバル・トランスアメリカであるアメリカ演劇祭で発表。その作品の成功がきっかけとなり、自身のプロダクション “Infrarouge” を創設して、本格的に自身名義の活動を始める。多様なジャンルのアーティストと共同で創作を行い、熟練した演技力とともに、革新的な映像や照明、サウンドを特徴とする幻想的な舞台作品を創り出している。

彼女の作品はカナダ国内以外では、パリのオデオン座、ロンドンのパービカン・センター、ベルリンのゾフィエンゼーレ、ウィーンのプリユート、ストックホルムのクルトゥールヒューセツト等のヨーロッパの有数の劇場で上演されている。また、ケベックの芸術コミュニティへの貢献が称えられ、2016年、ケベックの芸術文化勲章を受章している。

公益財団法人セゾン文化財団

〒104-0061 東京都中央区京橋3丁目12番7号 京橋山本ビル4階 TEL 03-3535-5566 / FAX 03-3535-5565